医療クラウドは、患者医者他部門の医療者同士の連携を図る医師の業務をサポートします。医師が診断した結果や指令、処方等データの入力、審査作業などを行います。また診療時に必要な検査の手配を、次回の予約管理と連動、入退院時に必要な書類作成などを幅広い業務を担っています。出勤では診療科毎に数名の医療クラウドが所属し、数人の小さなグループに分かれて業務にあたっています。患者さんの個人情報を入力、検査や処方のオーガーなど常に正確性とスピードを求める業務が主たる仕事ですが、そのやりがいに満ちています。関連する部署のクラウド同士は仲良く、「お互いさま」の気持ちで互いにフォローマッチしています。患者さんとは「どうぞ大事に」、「次回も気をつけて来てください」など不安を取り除けるような声かけを中心にしています。厚生労働省の横山隆司会長からも「医療クラウドさんは、医師、看護師との連携がとても重要で、時には患者さんの情報に幅広くフレキシブルに対応いただき、感謝しています。我々のチームにとって必要不可欠な存在です。」とも言われています。